

最上町雨水出水浸水想定区域図【想定最大規模降雨】

N
W E
S
S= 1:6,000

1. 説明文

- ①この図は、最上町都市下水路排水区域において、水防法の規定に基づく想定し得る最大規模の降雨が発生した場合に浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。
- ②この内水浸水想定区域等は、指定時点の最上町の下水道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(1時間降水量150mmの降雨)に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
- ③このシミュレーションは、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深が異なる場合があります。
- ④このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、河川の破堤または越水による氾濫を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- ⑤水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住まいの状況等により異なることから、自らの判断で適切に避難してください。

2. 基本事項等

- ①作業主体:最上町
- ②指定年月日:令和7年10月23日
- ③告示番号:最上町告示第 33号
- ④指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項
- ⑤指定の前提となる降雨:想定最大規模降雨(24時間総雨量416mm、ピークの1時間に150mm)
- ⑥浸水想定手法:浸水シミュレーション手法(降雨損失と氾濫解析のみを実施)
- ⑦境界条件:放流先河川の水位は、氾濫の危険がある水位まで上昇し都市下水路施設から放流できない水位

降った雨が用排水路、都市下水路へ流れ込まない設定で想定区域図を作成しております。

凡例

下水道計画区域

浸水深

- 1.00m以上
- 0.50m以上～1.00m未満
- 0.20m以上～0.50m未満
- 0.10m以上～0.20m未満
- 0.01m以上～0.10m未満

0 100 200 400 600 800 m

背景地図:国土地理院基盤地図情報